

事務事業名	地域貢献型集落営農ステップアップ事業補助金	所属部	産業振興部	所属課	農林振興課
政策名	総合計画体系 (V) 賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》	所属G	農業生産グループ	課長名	高野耕治
施策名	(33) 農業の振興	担当者名	小林弘典	電話番号 (内線)	0854-40-1051 3704
基本事業名	(099) 担い手の育成	予算科目	会計 款 項 目 01 310 05 25 73	中事業	地域貢献型集落営農ステップアップ事業補助金

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (19年度~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (23年度 ~ 25年度)	新規集落営農組合設立への支援や既存集落営農に対する経営の多角化に向けた支援、後継者育成や担い手不在地域との連携への支援。(ハード及びソフト)	現在市内には84の営農組織があるが、このうち国の担い手に位置づけられる組織は全体の1/4しかない。一方、集落営農組織は単に営農だけでなく、集落機能を維持する上で大変重要な役割を担っている。そこで、県が国の担い手要件を満たさない組織に対しても支援が出来る様に取り組んだ。

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(概要)	事業費	国庫支出金	千円						
	事業費	県支出金	千円		5,476	3,500	3,500	12,476	
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	事業費	地方債	千円						
	事業費	その他	千円						
③ 事業費の内訳(概要)	事業費	一般財源	千円	0	0	0	0	0	
	事業費	事業費計(A)	千円	0	0	5,476	3,500	3,500	12,476
④ 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	人件費	正規職員従事人数	人		2				
	人件費	延べ業務時間	時間		600				
⑤ 事業費の内訳(概要)	人件費	人件費計(B)	千円	0	0	2,365	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円		0	0	7,841	3,500	3,500	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

① 主な活動	手段	23年度実績(23年度に行った主な活動)	集落営農組織設立:1組織 GISマップの導入:3組織 新規就農者確保に向けた支援:1組織 担い手不在地域との組織連携支援とハード整備:1組織	⑤ 活動指標	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
		24年度計画(24年度に計画している主な活動)	経営の多角化に向けたハウス整備:2組織 蕎麦コンバインの導入 転作組織の新規設立			ア	集落営農組織	組織			84

② 対象(誰、何を対象にしているのか)	目的	集落営農組織	⑥ 対象指標	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
		ア			集落営農組織	組織			84	86
③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	目的	集落営農組織の設立 営農コストの削減等による農業生産の維持、農地の荒廃防止と集落環境の維持向上。	⑦ 成果指標	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
		ア			集落営農組織	組織			84	86
④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	上位目的	市内の農業所得総額	⑧ 上位成果指標	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
		ア			市内の農業所得総額	億			▲ 2.3	▲ 2.6

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
農家の高齢化や米価の下落等により、これまでの自己完結型の農業では採算が取れないようになってきた。このような中、集落営農が着目され、年間少数ではあるが新規の営農組合が設立している。	これまで各関係機関が単独で担い手支援を行っていたが、担い手支援室の設立に伴い県、JA、市が連携した対応ができるようになった。	雲南市の集落営農の大半は国の担い手要件を満たすことができない。しかし、本県単事業はそのような組織も集落の重要な担い手として位置づけられており、意欲のある組織からは事業内容の幅が広く一定の評価がされている。

事務事業名	地域貢献型集落営農ステップアップ事業補助金	所属部	産業振興部	所属課	農林振興課
-------	-----------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 ↷ 集落に貢献する担い手の育成につながっており、第一次産業の維持と農地の保全など農業振興につながっている。また、耕作放棄地の増加が緩やかになった。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 ↷ 事業要綱上、市町村を通じて補助申請等を行うことになっている。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 ↷ 県単事業で対象が限定されている。市として現在の対象者で問題はない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ 広く事業周知することで、既存の集落営農組織、これから組織化を図ろうとする集落への活用拡大が期待できる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 ↷ 小規模集落営農組織への支援が無くなり、営農意欲が減退する。また、担い手不在地域において組織の設立が停滞し、農地の荒廃につながる。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷ 類似事業はない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 事業実施主体の事業費は入札等により削減を行っている。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か?成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 事務は担い手支援室を中心に各関係機関が連携を取ることで人件費の抑制が図られており、これ以上の削減余地はない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 県の事業要綱に基づき実施しており公平公正である。一般農家に対する支援は他の事業を活用するなどして支援している。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	県の補助対象となる担い手の支援は各関係機関が連携して行なっているが、支援の必要量は年々増えている。今後細かい所までの支援は出来なくなる可能性がある。また、専門的知識も必要となっており現状を踏まえ応用する力も求められている。そのため、学習会や現場実習を積極的に行なう必要がある。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 担い手からは「雲南市として担い手の位置づけを明確化してほしい」との声もあり、住民に担い手の必要性和認知度を高める必要があり、今後の課題である。 また、組織や担い手の増加により求められる内容が高度化しており、外部からの指導や職員の質の向上が必要である。																						